

舗装施工管理要領（令和5年7月）_正誤表（1/2）

誤

正

種別	試験項目	試験方法	試験ひん度	規定値
(高機能舗装Ⅰ型用) アスファルト混合物	マーシャル試験	試験便覧 B001 試験便覧 B008	材料および配合粒度が異なるごとに最適As量で標準3個、水浸3個	表Ⅱ-1-17、 Ⅱ-1-18
	カンタプロ試験 注(11)	試験便覧 B010	各配合粒度の最適As量で1回(3個/回)	
	ラベリング試験 注(9)	試験便覧 B002	上記試験による決定配合にて1回(2枚/回)	0.7cm ² 以下を目安
アスファルト混合物 (高機能舗装Ⅱ型用)	マーシャル試験	試験便覧 B001 試験便覧 B008	材料および配合粒度が異なるごとにAs量5点で標準各3個、最適As量で標準・水浸各3個 注(12)	表Ⅱ-1-17、 Ⅱ-1-19
	カンタプロ試験 注(11)	試験便覧 B010	各配合粒度の最適As量で1回(3個/回)	
	ホイールトラッキング試験	試験便覧 B003 注(8)	上記試験による決定配合にて1回(3枚/回) 注(13)	表Ⅱ-1-16
	水浸ホイールトラッキング試験	試験法 244	上記試験による決定配合にて1回(2枚/回) 注(13)	平均はく離率5%以下
	ラベリング試験 注(9)	試験便覧 B002	上記試験による決定配合にて1回(2枚/回)	0.7cm ² 以下を目安
	表面きめ深さ	試験便覧 S022-3	上記試験による決定配合にて1回(2測定/回)	MPD 1.2mm上
	透水係数	試験便覧 B017T	上記試験による決定配合にて1回(3個/回) 注(13)	1.0×10 ⁻⁷ 以下
止水目地材	静的ダレ損失量	試験法 249	上記試験による決定配合にて1回(3個/回)	4.0%以下
	厚み		1) 製造会社・製造工場が異なるごと	表Ⅱ-1-20
	針入度		2) 監督員が必要と認められた場合	
	流動	試験便覧 A102	3) ただし、品質証明書があれば除くことができる	
	引張量			

種別	試験項目	試験方法	試験ひん度	規定値
(高機能舗装Ⅰ型用) アスファルト混合物	マーシャル試験	試験便覧 B001 試験便覧 B008	材料および配合粒度が異なるごとに最適As量で標準3個、水浸3個	表Ⅱ-1-17、 Ⅱ-1-18
	カンタプロ試験 注(11)	試験便覧 B010	各配合粒度の最適As量で1回(3個/回)	
	ラベリング試験 注(9)	試験便覧 B002	上記試験による決定配合にて1回(2枚/回)	0.7cm ² 以下を目安
アスファルト混合物 (高機能舗装Ⅱ型用)	マーシャル試験	試験便覧 B001 試験便覧 B008	材料および配合粒度が異なるごとにAs量5点で標準各3個、最適As量で標準・水浸各3個 注(12)	表Ⅱ-1-17、 Ⅱ-1-19
	カンタプロ試験 注(11)	試験便覧 B010	各配合粒度の最適As量で1回(3個/回)	
	ホイールトラッキング試験	試験便覧 B003 注(8)	上記試験による決定配合にて1回(3枚/回) 注(13)	表Ⅱ-1-16
	水浸ホイールトラッキング試験	試験法 244	上記試験による決定配合にて1回(2枚/回) 注(13)	平均はく離率5%以下
	ラベリング試験 注(9)	試験便覧 B002	上記試験による決定配合にて1回(2枚/回)	0.7cm ² 以下を目安
	表面きめ深さ	試験便覧 S022-3	上記試験による決定配合にて1回(2測定/回)	MPD 1.2mm上
	透水係数	試験便覧 B017T	上記試験による決定配合にて1回(3個/回) 注(13)	1.0×10 ⁻⁷ 以下
止水目地材	静的ダレ損失量	試験法 249	上記試験による決定配合にて1回(3個/回)	4.0%以下
	厚み		1) 製造会社・製造工場が異なるごと	表Ⅱ-1-20
	針入度		2) 監督員が必要と認められた場合	
	流動	試験便覧 A102	3) ただし、品質証明書があれば除くことができる	
	引張量			

注(1) 積雪寒冷地域など低温脆化が懸念される地域で行う。
 注(2) 改質アスファルトの場合のみ行う。
 注(3) 高粘度改質アスファルトの場合のみ行う。
 注(4) ストレートアスファルトで行うものとするが、規定値を満足しない場合は、使用するアスファルト（改質アスファルト、はく離防止剤など）を用いて再度試験を行うものとする。
 注(5) 近接する供用路線ですべり摩擦に問題がある場合や、設計要領第一集 舗装保全編3-5-2解説(1)⑦a)⑦b)⑦c)によりすべり抵抗性が懸念される粗骨材を表層に使用する場合は、原石のすべり抵抗性を確認するものとする。
 注(6) 水浸マーシャル安定度の水浸時間は24時間とする。
 注(7) 中間層は突固め回数を変えたものは必要ない。
 注(8) 供試体の密度は、マーシャル試験における締固め密度の100±1%以内とする。

注(1) 積雪寒冷地域など低温脆化が懸念される地域で行う。
 注(2) 改質アスファルトの場合のみ行う。
 注(3) 高粘度改質アスファルトの場合のみ行う。
 注(4) **各層の混合物の配合設計で使用するアスファルトを用いて試験を行う。**
 注(5) 近接する供用路線ですべり摩擦に問題がある場合や、設計要領第一集 舗装保全編3-5-2解説(1)⑦a)⑦b)⑦c)によりすべり抵抗性が懸念される粗骨材を表層に使用する場合は、原石のすべり抵抗性を確認するものとする。
 注(6) 水浸マーシャル安定度の水浸時間は24時間とする。
 注(7) 中間層は突固め回数を変えたものは必要ない。
 注(8) 供試体の密度は、マーシャル試験における締固め密度の100±1%以内とする。

舗装施工管理要領（令和5年7月）_正誤表（2/2）

誤

正

種別	試験項目	試験方法	試験ひん度	規定値
(橋梁レベリング混合物)	マーシャル試験	試験便覧 B001 試験便覧 B008	材料および配合粒度が異なるごとにAs量5点で標準各3個、推定最適As量を挟む3点で水浸各3個	表Ⅱ-1-14、Ⅱ-1-15
	混合物の底面形状	試験便覧S022-3	マーシャル試験を満足する各粒度の最適As量で1シリーズ	MPD 0.4mm以下
	ホイールトラッキング試験	試験便覧 B003 注(8)	マーシャル試験を満足する各粒度の最適As量で1回(3枚/回) 注(10)	表Ⅱ-1-16
	透水係数	試験便覧B017T	マーシャル試験を満足する各粒度の最適As量で1回(3個/回) 注(10)	1.0×10 ⁻⁷ 以下
	水浸ホイールトラッキング試験	試験法 244	マーシャル試験を満足する各粒度の最適As量で1回(2枚/回)	平均はく離率5%以下
(高機能舗装Ⅰ型用)	ダレ試験	試験便覧 B009	材料および配合粒度が異なるごとAs量5点	—
	マーシャル試験	試験便覧 B001 試験便覧 B008	材料および配合粒度が異なるごとに最適As量で3個	表Ⅱ-1-17、Ⅱ-1-18
	カンタプロ試験	試験便覧 B010 注(11)	各配合粒度の最適As量で1回(3個/回)	
	ラベリング試験	試験便覧 B002 注(9)	上記試験による決定配合にて2枚/回	0.7cm ² 以下を目安
	マーシャル試験	試験便覧 B001 試験便覧 B008	材料および配合粒度が異なるごとにAs量5点で標準各3個、最適As量で標準・水浸各3個 注(12)	表Ⅱ-1-17、Ⅱ-1-19
	カンタプロ試験	試験便覧 B010 注(11)	各配合粒度の最適As量で1回(3個/回)	
	ホイールトラッキング試験	試験便覧 B003 注(8)	上記試験による決定配合にて1回(3枚/回) 注(13)	表Ⅱ-1-16
	水浸ホイールトラッキング試験	試験法 244	上記試験による決定配合にて1回(2枚/回) 注(13)	平均はく離率5%以下
	ラベリング試験	試験便覧 B002 注(9)	上記試験による決定配合にて1回(2枚/回)	0.7cm ² 以下を目安
	表面きめ深さ	試験便覧 S022-3	上記試験による決定配合にて1回(2枚/回)	MPD 1.2mm以上
アスファルト混合物(高機能舗装Ⅱ型用)	透水係数	試験便覧 B017T	上記試験による決定配合にて1回(3個/回)	1.0×10 ⁻⁷ 以下
	静的ダレ損失量	試験法 249	上記試験による決定配合にて1回(3個/回)	4.0%以下

- 注(1) 積雪寒冷地域など低温脆化が懸念される地域で行う。
 注(2) 改質アスファルトの場合のみ行う。
 注(3) 高粘度改質アスファルトの場合のみ行う。
 注(4) ストレートアスファルトで行うものとするが、規定値を満足しない場合は、使用するアスファルト(改質アスファルト、はく離防止剤など)を用いて再度試験を行うものとする。
 注(5) 管内または近隣の路線ですべり摩擦に問題がある場合や、設計要領第一集 舗装保全編3-5-2

種別	試験項目	試験方法	試験ひん度	規定値
(橋梁レベリング混合物)	マーシャル試験	試験便覧 B001 試験便覧 B008	材料および配合粒度が異なるごとにAs量5点で標準各3個、推定最適As量を挟む3点で水浸各3個	表Ⅱ-1-14、Ⅱ-1-15
	混合物の底面形状	試験便覧S022-3	マーシャル試験を満足する各粒度の最適As量で1シリーズ	MPD 0.4mm以下
	ホイールトラッキング試験	試験便覧 B003 注(8)	マーシャル試験を満足する各粒度の最適As量で1回(3枚/回) 注(10)	表Ⅱ-1-16
	透水係数	試験便覧B017T	マーシャル試験を満足する各粒度の最適As量で1回(3個/回) 注(10)	1.0×10 ⁻⁷ 以下
	水浸ホイールトラッキング試験	試験法 244	マーシャル試験を満足する各粒度の最適As量で1回(2枚/回)	平均はく離率5%以下
(高機能舗装Ⅰ型用)	ダレ試験	試験便覧 B009	材料および配合粒度が異なるごとAs量5点	—
	マーシャル試験	試験便覧 B001 試験便覧 B008	材料および配合粒度が異なるごとに最適As量で3個	表Ⅱ-1-17、Ⅱ-1-18
	カンタプロ試験	試験便覧 B010 注(11)	各配合粒度の最適As量で1回(3個/回)	
	ラベリング試験	試験便覧 B002 注(9)	上記試験による決定配合にて2枚/回	0.7cm ² 以下を目安
	マーシャル試験	試験便覧 B001 試験便覧 B008	材料および配合粒度が異なるごとにAs量5点で標準各3個、最適As量で標準・水浸各3個 注(12)	表Ⅱ-1-17、Ⅱ-1-19
	カンタプロ試験	試験便覧 B010 注(11)	各配合粒度の最適As量で1回(3個/回)	
	ホイールトラッキング試験	試験便覧 B003 注(8)	上記試験による決定配合にて1回(3枚/回) 注(13)	表Ⅱ-1-16
	水浸ホイールトラッキング試験	試験法 244	上記試験による決定配合にて1回(2枚/回) 注(13)	平均はく離率5%以下
	ラベリング試験	試験便覧 B002 注(9)	上記試験による決定配合にて1回(2枚/回)	0.7cm ² 以下を目安
	表面きめ深さ	試験便覧 S022-3	上記試験による決定配合にて1回(2枚/回)	MPD 1.2mm以上
アスファルト混合物(高機能舗装Ⅱ型用)	透水係数	試験便覧 B017T	上記試験による決定配合にて1回(3個/回)	1.0×10 ⁻⁷ 以下
	静的ダレ損失量	試験法 249	上記試験による決定配合にて1回(3個/回)	4.0%以下

- 注(1) 積雪寒冷地域など低温脆化が懸念される地域で行う。
 注(2) 改質アスファルトの場合のみ行う。
 注(3) 高粘度改質アスファルトの場合のみ行う。
 注(4) 各層の混合物の配合設計で使用するアスファルトを用いて試験を行う。
 注(5) 管内または近隣の路線ですべり摩擦に問題がある場合や、設計要領第一集 舗装保全編3-5-2